

平成29年 死傷病報告受理状況 (暫定値)

平成30年2月28日現在

号別	業種	2月	年累計		前年比
			29年	28年	
1	食料品		① 40	① 52	-12
	繊維		2	8	-6
	衣服			2	-2
	木材・木製品		12	8	4
	家具・装備品		3	5	-2
	パルプ・紙		3	6	-3
	印刷・製本		3	1	2
	化学	1	13	17	-4
	窯業・土石		5	2	3
	鉄鋼		3	3	
	非鉄金属			1	-1
	金属		41	41	
	一般機械	2	20	① 23	-3
	電気機械	1	10	8	2
	輸送用機械	2	① 62	① 57	5
	電気ガス水道		1	2	-1
	その他の製造業	2	23	17	6
	小計	8	② 241	③ 253	-12
	2	鉱業			

木工機械による災害		2月	年累計		前年比
			29年	28年	
丸のこ盤	製造業			1	-1
	建設業		3	3	
	その他		1		1
帯のこ盤	製造業				
	建設業				
	その他				
かなな盤	製造業		2	2	
	建設業				
	その他		1		1
その他	製造業		2	4	-2
	建設業			1	-1
	その他				
合計	製造業		4	7	-3
	建設業		3	4	-1
	その他		2		2

号別	業種	2月	年累計		前年比
			29年	28年	
3	土木工事		18	① 18	
	建築工事	3	42	① 44	-2
	木造建築工事	2	① 19	16	3
	その他建設工事		7	12	-5
	小計	5	① 86	② 90	-4
4	鉄道		1	2	-1
	道路旅客		40	43	-3
	道路貨物	2	① 91	① 87	4
	小計	2	① 132	① 132	
5	陸上貨物取扱い		5	4	1
	港湾運送				
	小計		5	4	1
6	農業	2	30	19	11
	林業		5	15	-10
	小計	2	35	34	1
7	水産・畜産	2	9	12	-3
8	卸売業	1	25	① 20	5
	小売業	3	① 100	103	-3
	社会福祉施設	4	67	63	4
	飲食店	1	41	38	3
	ビルメンテナンス		16	16	
	旅館等宿泊事業		14	18	-4
	ゴルフ場		4	10	-6
	清掃・と畜事業		19	26	-7
	その他の事業等		① 96	83	13
	小計	9	② 382	① 377	5
総合計	28	⑥ 890	⑦ 902	-12	

プレス機械による災害		2月	年累計		前年比
			29年	28年	
金属			3	3	
一般機械			3	1	2
電気機械					
輸送用機械			4	1	3
その他の業種					
合計			10	5	5

○内の数字は死亡件数で内数

平成29年 死亡災害発生状況(暫定値)

平成30年2月28日現在

No	発生月 発生時間	業種 規模	事故の型 起因物	発生状況
1	5月 11時～12時	食料品製造業 30～49人	はさまれ、巻き込まれ その他の一般動力機械	製造した食料品を計量袋詰めする装置へ搬送するためのバケットの可動範囲内に立ち入った被災者が、下降中のバケットに上半身をはさまれ死亡したものの。
2	6月 19時～20時	輸送用機械器具製造業 300人以上	その他 起因物なし	自宅近くの遊技場にいたところ胸が苦しくなり倒れ、救急搬送され急性心筋梗塞との診断により入院加療していた被災者が、約1か月後に死亡したものの。長時間労働により心臓疾患を発症したものと推定。
3	7月 4時～5時	小売業 10～29人	交通事故(道路) 乗用車、バス、バイク	新聞配達員である被災者が業務用の原動機付き自転車を運転し、朝刊の配達途中に信号機のある交差点を北側から直進したところ、交差点を東側から直進してきた軽ワゴン車と衝突し死亡したものの。
4	7月 15時～16時	その他の事業等 1～9人	交通事故(道路) 乗用車、バス、バイク	河川監視員として釣り人の監視をする業務を行っていた被災者が、普段の帰宅時間になっても自宅に戻らなかったため、捜索したところ、河川監視している河川の中で被災者と原動機付自転車が発見され、被災者の死亡が確認されたものの。 状況から被災者は原動機付自転車で河川を監視中に、誤って道路のガードレールとガードレールの隙間から8m下の河川に原動機付自転車ごと転落したものと推定。
5	9月 10時～11時	木造家屋建築工事 1～9人	墜落、転落 足場	2階建て木造建築の新築工事において、先行足場による足場の組み立て作業で、飛散防止用のメッシュシートを張る作業を行っていた被災者が、足場3層目から約5m下の地面に墜落し、救急搬送され入院加療していたが、約2週間後に死亡したものの。
6	12月 22時～23時	道路貨物運送業 100～199人	墜落、転落 建築物、構築物	トラックの荷台後部から空コンテナをプラットホームに降ろし、次にプラットホームから冷蔵庫内へ運ぶ作業を単独で行っていた被災者が、プラットホームの下で倒れているところを発見、救急搬送され入院加療していたが、数日後に死亡したものの。 状況から被災者は高さ1mのプラットフォームから転落したものと推定。